2026 年 6 月 12 日

各位

株式会社 SBI 証券

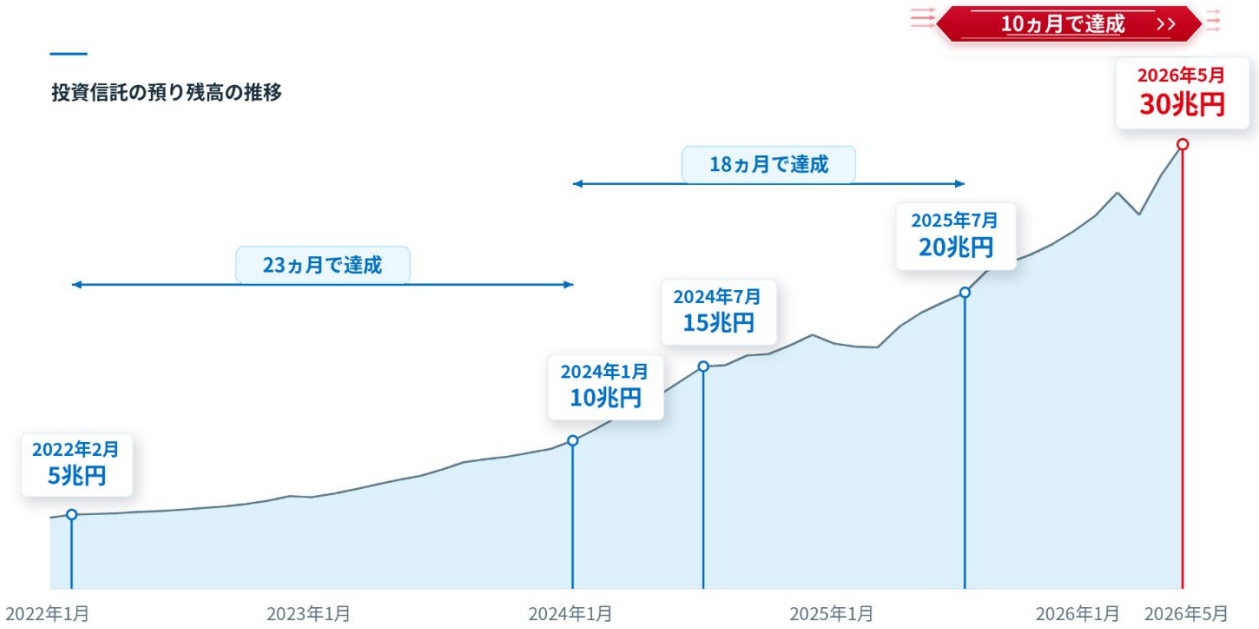
SBI 証券、投資信託の預り残高 30 兆円突破のお知らせ
～長期・積立・分散投資による資産形成から定期売却による資産活用まで ライフステージに応じて一気通貫で支援～

株式会社 SBI 証券（本社：東京都港区、代表取締役社長：髙村正人、以下「当社」）は、2026 年 5 月末時点の投資信託の預り残高※が 30 兆円を突破しましたので、お知らせします。

2024 年から開始した新 NISA を契機として、投資信託を活用した長期・積立・分散投資へのお客さまの関心が一段と高まっています。2025 年 7 月末に 20 兆円を突破した当社の投資信託の預り残高は、その後も多くのお客さまからのご支持を背景に順調に拡大し、このたび 30 兆円という新たな節目を迎えました。

このたびの投資信託の預り残高 30 兆円突破は、NISA を活用した資産形成ニーズの拡大に加え、当社がこれまで継続的に取り組んできた商品ラインナップの拡充や積立投資を継続しやすいサービス基盤の整備、さらに資産形成後の取り崩しニーズへの対応など、投資信託の購入・保有・売却にかかわるサービスの利便性を向上させる各種施策が多くのお客さまに支持された結果であると考えています。

■投資信託の預り残高の推移



当社は今後も「顧客中心主義」の経営理念のもと、「業界最低水準の手数料で業界最高水準のサービス」の提供に努め、商品・サービス・機能のさらなる拡充を通じて、お客さま一人ひとりの資産形成と資産活用を全力でサポートしていきます。

※ 当社取扱いの投資信託（MRF、外貨建 MMF、ETF、REIT、外国籍投資信託、ラップ専用ファンド含む）の残高合計

■SBI 証券の投資信託サービスの主な特長

1. NISA と相性のよい豊富な投資信託ラインナップ

低コストインデックスファンドからアクティブファンドまで幅広い投資信託を提供し、お客さまの多様な資産形成ニーズにお応えしています。

2. クレカ積立・銀行引落・SBI ハイパー預金連携により手間なく積立を継続できる仕組み

クレジットカード決済による投信積立、銀行引落サービス、SBI ハイパー預金との連携など、複数の利便性の高い入金手段を提供することで、手間なく積立投資を継続できる仕組みを提供しています。

3. 投信マイレージサービスによる長期保有の後押し

対象投資信託の保有残高に応じてポイントがたまる「投信マイレージサービス※」により、投資信託の長期保有を志向するお客さまの資産形成をサポートしています。

※ 投信マイレージサービスはインターネットコース（コールセンターコース含む）のお客様が対象です。ダイレクトコース、対面コース、IFA コース、IFA コース（プラン A）のお客さまは対象外となります。金融商品仲介業者経由で口座開設されたお客さまは、一部を除き対象外となります。

4. 定期売却サービスによる出口戦略の支援

「定額指定方式」「定率指定方式」「期間指定方式」の 3 方式に対応した投資信託定期売却サービスにより、資産形成後の計画的な取り崩しニーズにも対応しています。

5. 資産形成から資産活用まで一気通貫でサポート

積立・保有・取り崩しまでを一つの証券口座で管理できる環境を提供し、お客さまのライフステージに応じた資産運用を支援いたします。

＜金融商品取引法等に係る表示＞

商号等　　株式会社 SBI 証券　金融商品取引業者、商品先物取引業者

登録番号　関東財務局長（金商）第 44 号

加入協会　日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人資産運用業協会、一般社団法人日本 STO 協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人日本暗号資産等取引業協会

＜手数料等及びリスク情報について＞

SBI証券の証券総合口座の口座開設料・管理料は無料です。

SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります（信用取引、先物・オプション取引、商品先物取引、外国為替保証金取引、取引所CFD（くりっく株365）、店頭CFD取引（SBI CFD）では差し入れた保証金・証拠金（元本）を上回る損失が生じるおそれがあります）。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。

****